



# ほけんだより

平成23年8月 第129号



子育て施設課

0823-25-3144

## 夏に気をつけること

### 1 手足口病・ヘルパンギーナ

#### 原因

広い意味での、エンテロウイルス（夏風邪のウイルス）による感染症です。

原因となるウイルスは複数あるので、異なる種類のウイルスに感染すれば、何度かかかることとなりますが、一つの型のウイルスに対しては、終生免疫となります。

#### 感染

潜伏期間は約5日間です。

発病2日前から発病約1週間の間に、唾液（よだれ）、<sup>だえき</sup> 糞便に接触した人の手から口への糞口感染ですが、<sup>ひまつかんせん</sup> 飛沫感染もあります。

また、<sup>ふけんせいかんせん</sup> 不顕性感染の人（感染しても症状が出ない人で約40%います。）からも感染しますので、患者に対する厳格な休園対応は、感染拡大においてあまり意義がありません。



#### 症状

##### 手足口病

##### ヘルパンギーナ

#### 発熱

60%程度に、中等度の発熱

高熱（1～5日以内で解熱）

#### 発疹

口内の粘膜，手足に水泡や，赤い発疹が出ます。乳幼児には，おしり，ひざ，ひじの衣服ですれる所にも出ます。体に出ることもあります。

皮疹は約1週間でなおり，<sup>はんこん</sup> 色素沈着や癬痕は残しません。



のどの奥の上部両側に，赤みを帯びた水泡，または糜爛（ただれ）が見られます。

4～5日ですなおります。



#### 合併症

まれに髄膜炎・急性小脳失調症・脳炎になることがあります。

軽症例がほとんどですが，エンテロウイルス71による感染例では，脳炎による死亡例が報告されています。

6か月未満の乳児では，熱性けいれんを伴う例があります。

#### 治療と予防

対症療法のみです。特にヘルパンギーナは，高熱と，のどの痛みが強いことが多く，水分や食事がとりにくくなるので，脱水に注意が必要です。

予防にワクチンはなく，患者の周りの介護者は，周囲の健康者に対して，手洗いを丁寧に，頻繁に行う必要があります。



## 2 虫さされ

### 蚊



一番多いのは、蚊に刺されることです。

蚊に刺されると、まず刺されたところが赤く腫れてきます（即時型の反応）。

この腫れが一旦おさまり、しばらくしてからもう一度かたく腫れてきます（遅延型の反応）。

子どもの場合は、即時型の反応よりは遅延型の反応が強く出ることが多く、1～2日たってから強く腫れてきます。ひどいときには水ぶくれができることもあります。



強く症状がでてから薬を塗っても、あまり効果がありません。

刺されてから30分以内に炎症をとる薬を塗ると、遅延型の反応が抑えられ、症状が軽くてすみます。

市販の虫さされの薬でも、ある程度の効果が期待できますが、反応の強い場合、強めのステロイドの塗り薬を使うほうがよいでしょう。

シーズンのはじめに虫に刺されたとき早めに病院にかかり、薬を処方してもらい、刺されたらすぐに塗れるように、外出するときに持ち歩くことがおすすめです。

### 毛虫



少し時期は過ぎていますが、秋にももう一度ピークがあります。

ツバキやサザンカなどの葉の裏に、2～3cmの小さな毛虫がたくさんいることがあります。チャドクガといい、毛虫に直接接触らなくても毛が皮膚にくっつくだけで強い皮膚炎をおこします。米粒の半分くらいのあかいぶつぶつがたくさんでき、強いかゆみがあります。

こちらも、早い時期にステロイドを塗ると効果があります。また、毛虫の毛が皮膚に刺さって皮膚炎を起こしますので、症状のあるところにセロファンテープなどを貼り付け、そのあとはがすと毛がとれるため、症状が軽くてすむことがあります。

### そのほかの虫



ハチやムカデに刺されたときには、刺されてすぐに強い痛みがでてきます。

痛いだけであれば、あわてることはありません。

腫れが強いようであれば、病院に行きましょう。

ただし、以前にも同じ虫に刺されたことがあり、刺されてすぐに気分が悪くなったり、息苦しくなるような場合には、アナフィラキシーショックの可能性がありますから、できるだけ早く救急外来を受診しましょう。



ほけんだよりは、呉市のホームページでもご覧になることができます。

URL <http://www.city.kure.lg.jp/~kodosise/hoken.html>